

# 校長室の窓

第11号  
2014, 2, 28  
長野県蓼科高等学校長  
金原 正



## ☆☆卒業おめでとう☆☆

一年間、校地内を彩った花と樹木で皆さんの門出をお祝いしたいと思います。



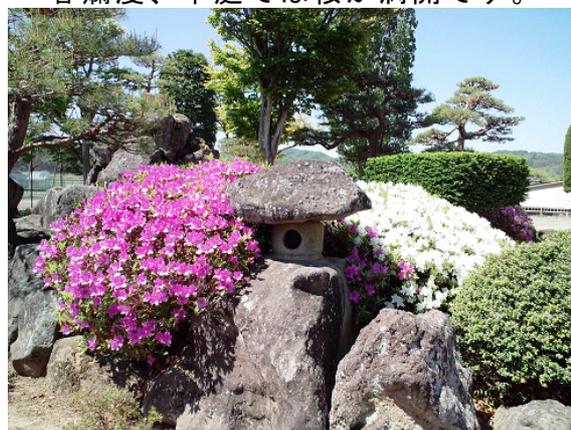
入学式の頃、校長室の前にはチューリップが咲いていました。



春爛漫、中庭では桜が満開です。



さわやかな5月、藤の花の周りにはたくさんの昆虫が集まって来ます。



6月、正面ロータリーのツツジ



生徒昇降口前の花壇にひっそりと咲くビオラ



保健室前のツツジ



事務室前にはあでやかなバラが…



夏、芸術教室と体育館の間の中庭にはヒマワリばかりではなく…



「アサガオの塔」(調理室前)



ペチュニア (9月 生徒昇降口前)



見事な紅葉 (管理棟と教室棟の中庭)

夏、生徒昇降口軒先に見られた光景です。撮影後間もなくして雛たちは元気に飛び立って行きました。今、君たちが大きく羽ばたこうとしています。君たちの向かう先に幸多からんことを祈ります。

## 思い出の校舎と蓼高のシンボル「ポプラ」



**常にロマンチストたれ！**  
**夢を大切に！未来を見据えた「今」を大切に生きて下さい**

「青春」 サミュエル・ウルマン より（抜粋）

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。薔薇の面差し 紅の唇  
しなやかな手足ではなく、たくましい意思 豊かな想像力 燃える情熱をさす。  
青春とは臆病さを退ける勇氣 安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。  
年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。歳月は皮膚にシワ  
を増すが、情熱を失えば心はしぼむ。苦痛・恐怖・失望により気力は地に這い、  
精神は あくた 芥にある。七十歳であろうと十六歳であろうと人の胸には、驚異に魅かれ  
る心 幼子のような未知への探求心 人生への興味の歓喜がある。精神が皮肉の  
雪に覆われ、悲嘆の氷に閉ざされる時、二十歳であろうと人は老いる。